

ISO/TC 283 コミュニケ
第2回総会、ダラス、2019年3月

概要

第2回 ISO/TC 283 会議が 2019 年 3 月 3 日～8 日、米国/テキサス州ダラスの ISN 社で開催された。

出席：

- ・ P メンバー国： 32
- ・ 外部リエゾン： 6
- ・ ISO 内リエゾン 1

電子会議システムでの参加者を含め約 82 人の参加者が週内に会議に参加した。

会議の週内で次の会議が行われた：

- ISO/TC 283 CAG (議長諮問グループ)
- ISO/TC 283/TG1 コミュニケーション
- ISO/TC 283/TG2 用語
- ISO/TC 283/TG3 附属書SLの改訂
- ISO/TC 283/WG2 職場の精神的な安全衛生
- ISO/TC 283/WG3 実践ハンドブック



ISO/TC 283 総会代表团、2019年3月

オープニング総会

マーチン・コッタム議長が、世界中から集まった同僚を歓迎し、ホストのISN社を紹介した。

ISN社の上級副社長ダグ・イエメノー氏と安全セキュリティ担当上級管理者リチャード・セレンジオ氏から、歓迎の挨拶と、ISN社と施設の情報の紹介が行われた。

議長は開会の挨拶で、ISO 45001と関連資料の影響を最大化し、世界中の業務上の死亡災害、けが、病気の発生率を減らすための委員会の取組みに焦点を当て、我々の任務の一部は、OH&Sパフォーマンスの最大の課題がどこにあるか、また我々の作業が及ぼす影響をよりよく理解することであり、地域グループの作業が重要な理由はそこにあると述べた。また、議長は、ウェブ会議を効果的に利用することで作業部会が大幅な進捗を達成したことを祝い、対面会議に出席できないメンバーが専門知識で貢献できるようにするために、俊敏性と包括性の精神を継続するよう奨励した。

ISO/TC 283/CAG(議長諮問グループ)



議長諮問グループは、オープニング総会前の日曜とクロージング総会の直後との2回会議を開き、主としてISO/TC 283の戦略ビジネス計画(SBP)の開発及び地域グループからの報告の2テーマに集中した。

戦略ビジネス計画は、委員会の目的と作業プログラムを説明する公開文書で、原案はほぼ完成し、間もなくTC及びISOに承認を受けるため提出される予定である。最新で正確であることを期すため毎年見直しされる。

地域代表は、英語ノンネイティブの人々が理解し貢献しやすくな

るようゆっくりと明瞭に話すことを確実にする必要性を含め、会議中に代表から報告があった課題について報告した。また、言葉やトピックに最も自信がある人に会議を支配させるのではなく、より多くの人を議論に参加させる必要性について総合的な議論があった。グループのリーダー達は将来の会議の焦点としてこれを引き受け、‘言葉の監視人’を指名し、ついていくのが困難な場合は会話のスピードを下げさせ、また発言の機会をより公平に与えることを確実にするように努めるようにする。

その他の地域の報告には次の内容が含まれた。

- オーストラリア及びカナダで最近ISO 45001が採択され、次回TC会議前にトリニダード・トバゴで採択が期待される
 - セントルシア及びバルバドスでは採択に向けた作業が進行中で、大部分のカリブ諸島では労働安全衛生の法令がなくISO 45001は労働安全衛生に取組みし得る手段と見られていることが留意された
 - マレーシアではISO 45001を法令で使用している
 - 本委員会で代表の数が最も少ない大陸であるアフリカでのISO 45001の利用を奨励していく必要がある
- ISO及び幹事国は、ISO 45001及びその利用に関して詳細なアンケートを会員国に配布することを計画している。これによって、委員会はさらに証拠を集めることができ、作業プログラムに反映をしてゆく。

ISO/TC 283/TG 1 コミュニケーション

コミュニケーションの会議には、Pメンバー5人と外部リエゾン1人が参加した。会議ではTGは次の事項に焦点をあてた。

- ウェブサイトの更新
- 各国代表とのインタビューの実施
- ウェブサイト掲載用に提出されるコンテンツの検証プロセスの合意
- 会員国が利用するためのTC及びISO45001に関する包括的なパワーポイント資料集の開発

TGはソーシャルメディアのリーダーに、キプロスのイヤニス・ツヤンタス氏とカナダのサプナ・マハヤン氏を指名した。

ISO/TC 283の全メンバーは委員会のウェブサイトを含める候補となる記事、リンク、関連コンテンツを提案できる。ISO/TC 283のウェブサイトは英国のステイブ・グリフィス氏の主導で再設計され最新に維持されるが、URLは次に示される。<https://committee.iso.org/home/tc283>



ISO/TC 283/TG 2 用語



新しい用語グループは今週第1回会議があり、Pメンバー5ヶ国を代表して8名のエキスパートが出席した。会議では、課題が起きたか又はWGで定義が必要と決定されたときに、WGの要請に応じてのみTGは会合することに合意した。定義のデータベースは開発されて、維持される予定である。

WG2の要求に応じて、TG2は‘心理社会的リスク’の定義を開発し、WG2に提示されて受け入れられ、ISO 45003の次回原案に含められる。

ISO/TC 283/TG3 附属書SLの改訂

この新しいTGは、上位構造及び関係するISO専用業務指針に含まれるガイダンス資料の（限定的な）改訂作業へのインプットを確実にするために設置された。

この改訂作業は今後2年間にわたって行われる予定であり、ドイツのユヴァ・マークス氏がTG3のコンビーナに指名された。フランスのキャサリン・モンタゴノン氏が、共同コンビーナを務めると同時にマーチン・コッタム氏と一緒に、ISOの合同技術調整グループ(JTCG)の下で改訂を担当するタスクフォースにTC代表として参加する。

改訂の概要を説明するTC全体会議に続いて、TG3会議にはPメンバー7ヶ国から代表が出席した。作業は、リスクの定義に関してJTCGで挙げられた課題に集中して行われた。グループでの決定は、TC283としては、

OH&Sマネジメントにとって問題があるとみられる改訂された上位構造の既存の定義を使うより、むしろリスクの委員会と共同作業をして現在のISO 31000の定義を修正するほうが望ましい進め方であろうというものである。



ISO/TC 283/WG2 職場の精神的な安全衛生



スタブローラ・レカ氏（左）が共同コンビーナとしてノーマ・マコーミック氏に加わり、20以上のPメンバーの代表と一緒にISO 45003の作業原案をブラッシュアップする作業をおこなった。CASCOからのリエゾン代表のアリスター・ダーリンプル氏（右）に書記の支援をしていただいた。WD1に対する1000件近いコメント処理で、WD2に向けて大きな進捗があった。適用範囲及び必要に応じて手引きの両方に明示的にwellbeing（健康）を盛り込むという重要な判断が行われた。検討が残ったコメントは、ウェブ会議で処理を行い、コンセンサスを得て、できれば5月にもCD段階へ進める投票を行いたいと計画している。



ISO/TC 283/WG 3 実践ハンドブック



24ヶ国からの約30名の代表が、WG3リーダーのジェリー・ラムドニー(右)及びヴィック・トイ(左)と、ハンドブックの初案に対する1000件近いコメントの処理を行った。WGは小グループに分かれた作業ですべてのコメントを処理し、原案は一貫性、簡単な言葉遣い及び技術的正確さを確実にするために、新しく設置された編集・諮問チームにて第1回目の編集に進められる。

修正原案は、WGメンバーによる最終レビューの後、夏にはTC全体に送られて会員国による投票とコメントを受ける。これらのコメントは、10月の次回TC会議で処理され、今のところ発行時期は2019年11月の予想である。

社交行事

月曜のオープニング総会の後、主催者によるドリンクレセプションがカノーピーバイヒルトンホテルの屋上バーで開催され、米国安全技術者協会(ASSP)のティム・フィッシャー氏(右、Vic Toy氏と)が、ASSPとISN社と共同で本委員会の米国会議の手助けをできて喜ばしいとの挨拶があった。



ISO規格開発代表のホセ・アルコータ氏(左)が、ISO 45001のプロジェクトリーダーのクリスチャン・グリーセル氏(右)に感謝状を渡し、多くの課題にもかかわらずISをまとめて発行した業績を祝した。

ティム・フィッシャー氏とASSPチームには、長く充実した週の締めくくりに代表同士のよい交流機会となった、木曜夜のGrimald'sでのピザパーティのスポンサーをしていただいたことに特に感謝する。

決議

クロージング総会では2件の決議が承認された。

1. ユーヴァ・マークス氏とキャサリン・モンタゴノン氏をISO/TC 283/TG3の共同コンビーナに指名する
2. ISO/TC 283からISO/TC 260 (ヒューマンリソースマネジメント) へのリエゾン関係を設定する

今後の会議

| | | |
|-----------------------|-----------------|-----|
| 第3回会議：2019年10月6～12日、 | ルワンダ/キガリ | 確認済 |
| 第4回会議：2020年4月 | モロッコ/マラケシュ | 確認中 |
| 第5回会議：2020年10月11～17日、 | エルサルバドル/サンサルバドル | 確認済 |

日程は暫定的である。会場の詳細情報は今後確認する。

上で使った写真の多くを提供いただいたヤン・トフト・ラスムッセン氏に感謝する。その他の写真提供者にも多謝—この調子で頑張りましょう。

サリー・スウィングウッド
ISO/TC 283 委員会マネージャー
BSI 代表, 2019年3月15日